



UNAIDS プレスリリース

米国政府の思い切った HIV 資金拠出パッケージを強く歓迎

2026 年 2 月 5 日 ジュネーブ 米議会で超党派の 58 億 8000 万ドル HIV 支出法案が成立したことを UNAIDS は、HIV 対策における米国の関与とリーダーシップの維持、強化につながる動きとして歓迎します。

ドナルド・トランプ米大統領が 2 月 3 日、統合支出パッケージに署名したことで、この法案は法律として成立しました。アメリカ・ファースト・グローバルヘルス戦略を通じた二国間の HIV 支援に 46 億ドル、世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）に 12 億 5000 万ドル、そして国連合同エイズ計画（UNAIDS）に 4500 万ドルを配分するものです。

「トランプ大統領と米議会在が HIV とグローバルヘルスへの関与を継続したことに感謝します」と UNAIDS のウィニー・ビヤニマ事務局長は語っています。「米国の投資により、各国で何百万もの人の命が救われ、世界の HIV 対策はデータに基づき、確実に高い成果を上げることになります」

この法律はアメリカ・ファースト・グローバルヘルス戦略を推進するものです。2030 年までに公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結を果たすうえで不可欠な要素として UNAIDS の 95-95-95 ターゲットを重視し、各国が主体的に自立した HIV 対策に取り組む戦略的転換の加速を目指しています。米国の投資は 20 年以上にわたって世界の HIV 対策を牽引し、何百万もの人の命を救い、各国のエイズ流行終結に向けた努力を支えてきました。

UNAIDS は、HIV の影響を最も大きく受けている国やコミュニティにデータを提供し、綿密な技術的・戦略的支援を行うことに資金を活用してきました。また、米国政府、グローバルファンド、パートナー国の政府やコミュニティと緊密に協力しアメリカ・ファースト・グローバルヘルス戦略の実施にも尽力しています。

米国政府は 1996 年の UNAIDS 発足以来の主要パートナーです。最近では UNAIDS プログラム調整理事会の理事任期を 2028 年まで更新しています。